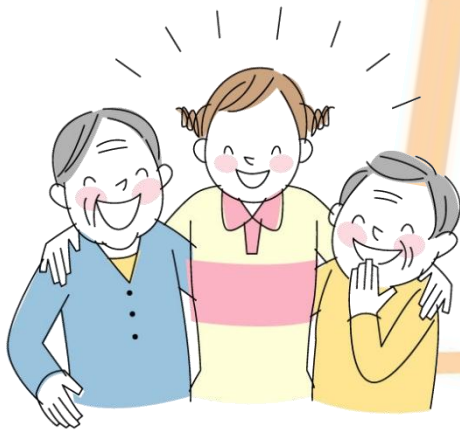




エンディングノート

終活のブックリスト

※貸出中場合があります

「エンディングノート」は書き込み式のものが多いため、
所蔵は多くありません。

『エンディングノートのすすめ』 本田桂子著 講談社現代新書 2012年7月刊

エンディングノートを書くとはどんないいことがあるのか、それぞれの項目について最低限何を書けばよいのか、エンディングノートのつくり方、実際にエンディングノートを書いた人の声などをまとめています。

『60歳からのエンディングノート入門 わたしの葬儀・法要・相続』 二村 祐輔著
東京堂出版 2012年11月刊

遺される家族や大切な人へ伝えたい想いを「エンディングノート」に綴っておくことを提案しています。お葬式の実務に携わる立場から正しい知識による事前準備をすすめています。

『はじめて読む「老いじたく」の本ーエンディングノートにも使える これで安心！老前・老後の準備と手続きー』 馬場敏彰著 明石書店 2011年9月刊

生前の準備から死後の手続きまでが通して書かれていて、流れがわかるようになっています。事例とそれぞれの場面で必要な手続きの説明や書式が載っています。

『「終活」バイブルー親子で考える葬儀と墓ー』 奥山晶子著 中央公論新社 2013年8月刊

終活をしたいと考えている人はもちろん、親が老後を迎える・迎えたと言う世代の方にもオススメです。親子で終活を考えるきっかけにすることができる1冊です。

『終活ハンドブックーこれだけ知っておけば安心！ー』 本田桂子監修 PHP研究所 2011年8月刊

終活について、お金のこと、介護のこと、遺言書、葬儀と4つの視点から書かれています。終活に興味を持っている方からこれから終活を始めたいという方まで、幅広く読んでいただけます。

その他にも図書館にはたくさんの資料があります。
どうぞご利用ください！

